

宇美町子ども読書活動推進計画

～ふみの里 うみっ子読書プラン～

平成22年2月

宇 美 町

ご あ い さ つ

本町は、「まちづくりはひとづくり」を基本理念に、平成14年に総合計画を策定し、誰もがいつでも学べる環境づくりの一環として、町民の読書活動を推進してきました。町立図書館も現在地にオープンして、早2年半を経過し、町民の方はもちろん、町外の方にも広く利用いただいています。

また、未来の宇美町を担う子どもたちが、生涯にわたって健やかで、心豊かな生活を送れるように、本町では、数年前から子どもの読書活動を支援しています。さらに、今年度は、地域・保護者・学校・行政が一体となった「早寝早起き朝ごはん・読書活動・あいさつ運動」の連携や「宇美町図書館を使った調べ学習コンクール」を取り入れました。

この度、昨年度まで実践を積み重ねてきました文部科学省指定の「子ども読書の街」推進事業を継続・発展させ、新たな体制での子ども読書活動の支援を考え、本活動計画を策定いたしました。

読書は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするといわれ、子どもの成長には欠かせない大切なものです。また、本は、「大事な記憶の扉である」とか、「言葉を紡ぎ、世界を身近に取り戻す一つの装置である」といわれています。幼いときに読んだ本や、大人の人から読み聞かせしてもらった本は、いつまでも心の中に記憶され、大人になってから、もう一度読み直したいという気にさせます。

人は、物語を読むとき、登場人物になりきり、物語の場面や背景のイメージをふくらませ、喜びや悲しみ、怒りや感動を味わっていきます。数十年前、一世を風靡した黒柳徹子さんの自叙伝「窓ぎわのトットちゃん」を映画化しようという話が出た時、黒柳さんは、映像化されると場面や背景が固定化され、作者が作り上げたイメージに左右されるという理由で、きっぱりと断られました。

しかし、本は、読み手によって、自由にイメージを広げるよさを持っています。

今年は、幸いにして、国民読書年に当たります。この機会に、町全体で子どもの読書活動を支えるとともに、町民の皆様も大いに読書活動に励んでいただきますことを祈念いたします。

結びになりましたが、今回の策定に当たり熱心に審議いただきました策定委員の皆様をはじめ、関係各位のご協力に心からお礼申し上げます。

平成22年2月

宇美町長 安川 博

目 次

第1章	計画策定の背景	1
第一	子ども読書活動の現状と意義	1
第二	国の動き	1
第三	県の動き	2
第四	宇美町の動き	2
第五	宇美町の子ども読書活動の現状	3
1	家庭における読書活動	3
2	保育園・幼稚園における読書活動	5
3	小・中学校における読書活動	6
4	子ども読書に関するボランティア活動の状況	6
5	町立図書館における読書活動	8
第2章	宇美町子ども読書活動推進計画の基本的な考え方	1 1
第一	計画の目的及び目標	1 1
第二	計画の位置付け	1 1
第三	計画の対象	1 2
第四	計画の期間	1 2
第五	計画の推進	1 3
1	推進会議の設置	1 3
2	読書活動を推進する4つの基本方針	1 3
3	進行管理	1 3
第3章	推進に向けた具体的な取組（施策）	1 4
1	計画の柱（1）	1 4
○	家庭の役割	
○	地域の役割	
2	計画の柱（2）	1 6
○	保育園・幼稚園の役割	
○	学校の役割	
3	計画の柱（3）	1 9
○	町立図書館の役割	
4	計画の柱（4）	2 1
○	行政の役割	
◎	「宇美町子ども読書活動推進計画」の実施体系	2 2
◎	「宇美町子ども読書活動推進計画」グラウンド・デザイン	2 5
◎	推進主体による読書活動及び関係機関との連携・働きかけ	2 6
●	資料編	2 7
※	各種統計資料	2 7
※	法規関係資料	3 1
※	宇美町子ども読書活動推進計画策定委員名簿	3 9
※	用語解説	4 0